

～特別栽培米で農業と沼を元気にする～

(有) ちば緑耕舎

国営かんがい排水事業「印旛沼二期地区」



取組のポイント

- ①持続可能で顔の見える農業を目指し特別栽培米の販売組織を設立。事業目的である流域水質保全を推進。
- ②構成員(農業者)が特別栽培米やJAS有機米を栽培。
- ③栽培技術向上の研修会、親子農作業体験イベントを開催。

法人の経営概要

代表取締役：杉田 勉
設立年：平成10年
構成員数：7人
販売量：561t
契約面積：118ha
(特別栽培米114ha JAS有機米3ha もち米慣行栽培1ha)

取組の経緯と課題

- ◆地域農業を未来へつなぐ持続可能な農業、生産者の顔の見える農を実践するため、地域の農業者で特別栽培米の販売組織を設立。(その後、平成10年に法人化)
- 生産した特別栽培米の販路の開拓。
- 収量・品質を安定させるための栽培技術の向上。



千葉県栄町

課題への対応

- 農業者が販路開拓、価格交渉を行い消費者の声を直接聞く。生協のほか、食育の一環として学校給食、ふるさと納税返礼品等へ出荷。
- 生協会員の中から20組を対象に親子農作業体験イベントを毎年4回開催。
- 農家の栽培技術向上のため毎年外部講師を招いて研修会を開催。



農業体験ほ場

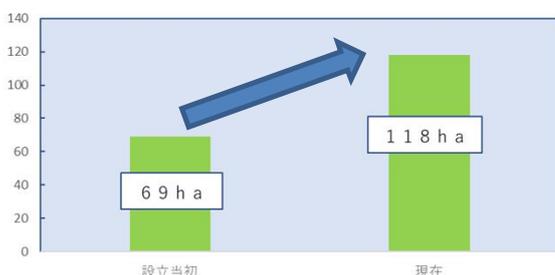
取組の成果

- 契約栽培面積・年間出荷量は、設立当初の69ha・352tから、現在は118ha・561tに拡大。
- 化学肥料の使用量を減らすため有機質肥料との混合肥料を使用。薬剤散布は慣行栽培の14成分使用に対し 除草剤4成分のみ使用。
- 水田からの排水汚濁負荷量を削減し、印旛沼二期地区の事業目的である流域水質保全に貢献。



印旛沼二期地区吉高機場周辺

ちば緑耕舎の契約面積の推移



稲刈り体験

事業概要

地区名：印旛沼二期地区
事業種：かんがい排水事業
(流域水質保全機能増進事業)
関係市町：千葉県成田市外3市2町
受益面積：5,002ha
工期：平成22年度～令和6年度
事業目的：用排水改良、区画整理
(水質保全)
主要工事：機場6箇所
用排水路54km